

1-3. 北部景観区域

区域の概要

- 北部区域は牧野駅前新たに整備された駅前空間、淀川から府道枚方交野寝屋川線にかけての計画的住宅地、船橋川から招提、国道1号にかけての集落を含む田園風景、国道1号沿道の大規模な工業地など、多様な景観資源を有しています。
- 今後はこれらの景観資源を活かし、にぎわいやうるおい、活気のあるまちにしていくことが求められます。



■ 牧野駅前

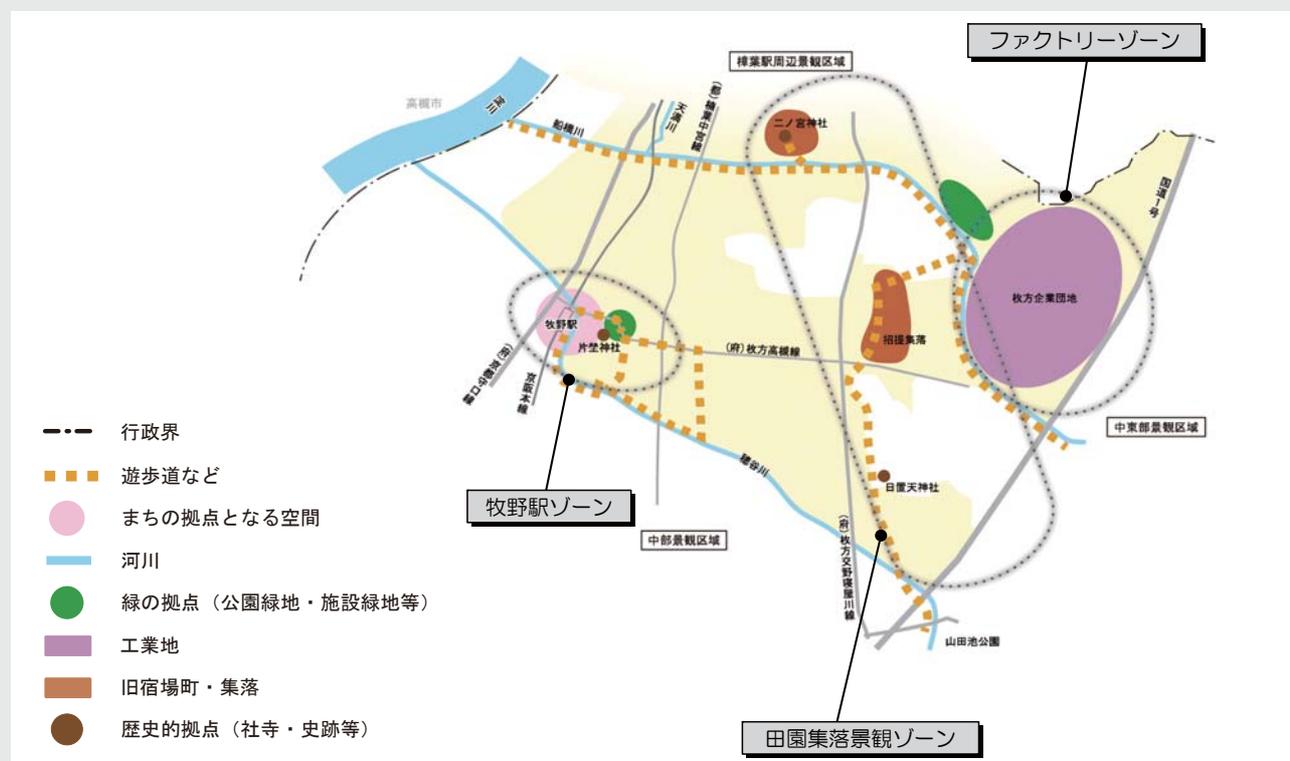
新たに生まれた駅前空間



■ 牧野公園

交野神社と一体となったシンボルゾーン
公園の桜は枚方八景の一つ

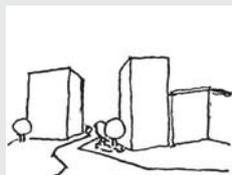
景観形成イメージ



■ 区域の景観資源

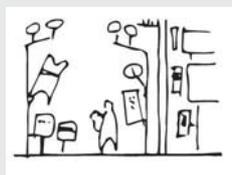
淀川の四季（枚方八景）、牧野の桜（枚方八景）、船橋川、穂谷川、今池、新大池、片莖神社、九頭神廃寺、二ノ宮神社、日置天神社、船橋集落、招提集落、中の池公園、日置今池街道、とうかえでの道、関西医科大学、大阪歯科大学など

地域特性を活かすために



■ 牧野駅

牧野駅周辺では再開発事業により新たな駅前空間が形成された。



■ 商店街

牧野本町周辺は身近な買い物の場所。



■ 歩車が未分離

牧野駅周辺は、歩車が未分離で歩きづらい。



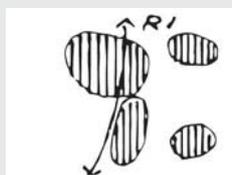
■ 集落と田園の風景

船橋・招堤などの集落、田園風景、ため池、船橋川、穂谷川。



■ 住宅の立地

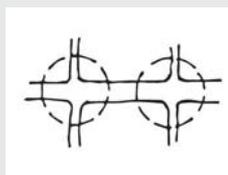
中小規模の住宅群がある。



■ 幹線道路と工業団地

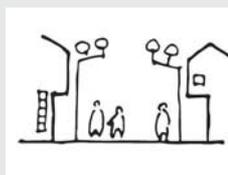
国道1号の沿道には大規模な工業団地があり、塀や外壁は多くの人々の目にふれている。

にぎわいあふれる ゆとりあるまちをつくる



■ にぎわいのある人だまりをつくる

主な通りには人だまりになるスポットをつくり、それらを連続させ、にぎわいを演出する。



■ 歩き良い買い物空間をつくる

路上の広告物、売り台等を整えながら、歩き良い買い物空間をつくる工夫をする。

地域の風景に調和したまちなみをつくる



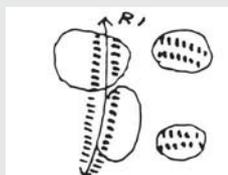
■ 集落や田園風景と調和させる

集落や田園風景と調和するよう、色あい、屋根の形、緑の育成に配慮する。



■ まちなみづくりを工夫する

宅地開発においては、小さな緑やオープンスペースを連続させるよう配慮する。



■ 幹線道路の沿道景観を整える

幹線道路の沿道や工業団地では、広告物を整え、積極的に緑化する。